



平成23年 8月 1日

各位

株式会社もしもしホットライン

もしもしホットライン、仙台コールセンターを拡張移転 BCPに対応するバーチャル・コールセンターを1800席に能力増強

株式会社もしもしホットライン(東京都渋谷区、代表取締役社長 竹野秀昭、以下もしもしホットライン)は、東北支店と仙台青葉センターを同一ビル内にリニューアル移転するとともに、能力の増強を行い、本日より同支店ならびに同センターの運営を開始いたしました。

もしもしホットラインでは、1995年10月に仙台支店(現・東北支店)、2002年5月に盛岡センター、続く2004年11月に仙台青葉センターと、東北地方においては3拠点を設置し、コールセンター業務の運営を行ってまいりましたが、このたびの震災を契機に、仙台市内コールセンターのリニューアルならびに更なる能力強化を行うべく、同市内に配置している東北支店と仙台青葉センターを同一ビルに移転し、新たなスタートを切ることとなりました。

東北支店および新センターは、地下鉄南北線 広瀬通駅 徒歩1分のプライムスクエア広瀬通の10階から12階までの3フロアに入居、従来、旧・東北支店と旧・仙台青葉センターを合わせて最大230席あった業務スペースを移転後には合計300席に拡張し、運営を開始いたしました。

新センターには、IP-PBXシステムを導入、仙台のほか全国8ヶ所に配置したIP-PBX対応コールセンターとのネットワーク化を図り、国内最大級となる最大1800席のバーチャル(仮想)・コールセンターを形成します。

バーチャル・コールセンターとは、中核設備をデータセンターに配置し、ネットワーク化された複数の遠隔地コールセンターにおいて、あたかも眼前でオペレーションが行われているように、相互かつリアルタイムで稼働状況(通話中、待機、後処理など)を把握できるほか、柔軟かつ迅速に設定変更や稼働席数の調整を行うことができるシステムです。同システムではサービス品質の一元管理と均質化を実現するとともに、BCP対応など可及的速やかに大規模コールセンター構築する必要が発生した場合に、その強みが発揮されま

す。

もしもしホットラインでは、これを機に、同センターを東北地方の中核拠点として育成していく方針です。

以上

【仙台青葉センターの概要】

稼働開始日:2011年8月1日

所在地:宮城県仙台市青葉区中央2-9-27 プライムスクエア広瀬通

最大席数:300席



【株式会社もしもしホットライン】

1987年設立の大手のテレマーケティング会社です。全国に30ヶ所以上の自社コールセンターを配置し、グループ全体で2万人を超えるスタッフがコールセンター運営に従事しています。通信、放送、金融、公益など様々な業界に属する国内主要企業を中心とした数百社に対してコールセンター構築・運営・各種調査・人材育成・データマイニング・コンサルティングなどのサービスを提供しています。グループ会社にバックオフィスサービスを主体とする株式会社マックスコム、訪問営業ならびに店頭営業支援を主体とする株式会社アイヴィジットを擁し、BPO(Business Process Outsourcing)企業グループを形成しています。東証1部上場（証券コード：4708）。

【問合せ先】

広報・IR室 和田・岩本
03-5351-7200（代表）